

日本語検定メールマガジン 第27号

平成21年11月27日発行

このメールマガジンは、日本語検定のお申し込み時に情報配信をご希望になったかた、および日本語検定公式ホームページ上で配信登録をされたかたにお送りしています。

こんにちは。日本語検定委員会のまるみです。

厚手のコートが欠かせない季節になってきました。

コート着用率の上昇とともに、通勤時の満員電車が窮屈さが増していく気がして、少々ゆううつです。

最近困ったのが、前に立っている男性がファー付きのフードのあるコートを着ていたときです。電車が揺れるたびにファーに鼻先をくすぐられ、くしゃみが出そうになります。

「心頭を滅却すれば…」と心の中で唱えても効果はなく、結局くしゃみをしてしまい、己の修行不足を思い知るばかりでした。悔しかったので、忘年会シーズンを前に、今年最後の目標として「ファーに負けない無念無想の境地」を掲げることにしました。(くしゃみは反射運動なので、「心頭」は関係ないかもしれませんが…)

今年も残り1か月です。皆様の目標は無事達成されましたか。

それでは、日本語検定メールマガジン第27号をお届けします！

【目次】

◆ トピックス

◆ 日本語ワンポイントレッスン

『伊豆の踊子』を用いて「擬音語・擬態語」の学習をする (富川和代)

◆ トピックス

◇ 平成21年度第2回 検定結果等のお知らせについて

平成21年度第2回日本語検定(11月6・7日実施)を受検くださった皆様、誠にありがとうございました。

現在、ホームページにて解答と解説を掲載しております。

また、ホームページでの合否速報は、12月4日(金)、結果のお届けは12月18日(金)頃を予定しております。

◇ 来年度 実施予定

平成22年度の実施予定は以下の通りです。

第1回(通算第7回)

一般会場 6月19日(土)

準会場 6月18日(金)・6月19日(土)

申込受付 3月1日(月)～5月21日(金)

第2回(通算第8回)

一般会場 11月13日(土)

準会場 11月12日(金)・11月13日(土)

申込受付 8月2日(月)～10月15日(金)

◆ 日本語ワンポイントレッスン

『伊豆の踊子』を用いて「擬音語・擬態語」の学習をする

留学生は、日本語の「擬音語・擬態語」を学ぶ時、どんな点に難しさを感じているのでしょうか。

アンケートを取ったところ、多くの留学生が、

- 1 種類が多いので、覚えきれない
- 2 形の似ている語や意味が似ている語が多いので、使い分けが難しい
- 3 物や動作とどう接続させればいいかが分からない
- 4 学んでも、使う機会がないとすぐ忘れてしまう

などを挙げました。

日本語を母国語とする私たちにとってもときに難しい擬音語・擬態語ですから、それを一から学ぶ留学生の苦労はたいへんなものでしょう。

擬音語・擬態語の学習には絵や漫画、視聴覚教材などが有効ですが、小説などの読解を通して肌で感じることも大切です。

私の担当する「日本語」のクラス(留学生対象)では、教科書で基礎的な学習をした後、川端康成の『伊豆の踊子』や宮沢賢治の『銀河鉄道の夜』など、擬音語・擬態語が多く用いられている文学作品を読み、文中に用いられている擬音語・擬態語を使って学習を深めています。

踊子が下から茶を運んできた。私の前に坐ると、真紅になりながら手をぶるぶる顫(ふる)わせるので茶碗が茶托から落ちかかり、落とすまいと畳に置く拍子に茶をこぼしてしまった。

これは『伊豆の踊子』の一節です。「ぶるぶる」という擬態語によって、「踊り子」が「私」を意識している様子が伝わってきます。

このような実際の小説を用いた学習を経ると、擬音語・擬態語によって人物の微妙な心理、動作、外貌などを生き生きと伝えられることが分かります。

また、自分の感覚次第で、擬音語・擬態語を使ってさまざまな表現ができることが分かると、擬音語・擬態語を面白いと感じ、どんどん使いたいと思うようになるようです。

皆様も、秋の夜長に、印象的な「擬音語・擬態語」を探しながら読書されてはいかがでしょう。

富川和代

滋賀県立大学非常勤講師(日本語教育)、京都外国語大学非常勤講師(日本語教育)、にほんご滋賀代表

最後まで読んでいただき、ありがとうございました。

次回のメルマガ配信は、12月下旬を予定しております。

みなさま、それまでお元気で！

◆ 編集後記

こんにちは、「でぶりん」です。

でぶりん「こんにちは～、まるみで～す」

ま る み「ちょっと、ちょっと！ そんな大きなお腹して、どこがわたしなんですか！」

でぶりん「いや～、最近、わたしね、太っちゃったのよ。ほほほっ」

ま る み「もう、いい加減にしてくださいよ」

でぶりん「ごめんごめん。いつも同じ登場ではつまらないから、まるみ風にね。ほほほっ」

ま る み「わたしは『ほほほっ』なんて言いませんよ」

でぶりん「そうだっけ。そういえば、まるみ、にほごんのストラップを作ったのでしょう？」

ま る み「はい。にほごと、キュートなわたしのイラストが台紙なんですよ」

でぶりん「はあ？ キュート？ 自分で言ってるし」

ま る み「ほほほっ。まあ、キュートといえばハロプロかまるみかっていうことですね」

でぶりん「あの～、その～、なんか寒い風が吹いてくるんですけど、気のせい？」

ま る み「ほほほっ、気のせいですわ。風邪でもお引きになったのでは？」

でぶりん「…なんだか頭痛がしてきたので、今日はこの辺で」

ま る み「お大事になさってください！ 日に日に寒くなってきていますので、みなさまもどうぞご自愛ください。

キューティーまるみでした！」

編集・発行：特定非営利活動法人 日本語検定委員会

Copyright (c) 2009 by The Japanese Language Examination Committee All rights reserved.